

天草ジオパーク推進協議会の取り組み

「見どころ」の保護・保全／安全上の注意

各地域に点在する「見どころ」は、地球の営みを体感できる貴重な資源です。天草ジオパーク推進協議会では、観光客や見学者に対してこれらを開放するとともに、誰でも気軽に楽しむことができるように、解説板等の設置を進めています。また、各「見どころ」の保護・保全活動にも取り組んでいます。



■安全上の注意点

「見どころ」の中には、沿岸や山中など足元が悪い場所があります。運動靴など歩きやすく、すべりにくい履き物と、動きやすい服装でかけることをおすすめします。安全に配慮することも現地を楽しむコツです。

教育普及活動

次世代を担う子どもたちが、天草ジオパークの構成要素である地質・地形、化石、歴史、文化、産業、生態系を知ることによって地域への誇りを高めてもらうため、積極的に出前授業を行っています。また、これらの地域資源を身近で体感できるよう、学校が現地見学する際の支援も行っています。このほかにも、一般向けの出前講座も行い、天草ジオパークの認知拡大や、自然災害に関する安全知識の啓発を行っています。



小学生の現地見学



出前講座

その他の活動

天草地域内外の各種イベントに参加し、天草ジオパークの普及活動にも努めています。イベントで行う化石レプリカづくり体験は、子どもたちに大人気です。また、ガイドのスキルアップを図るため、各ガイド団体と連携して合同研修会を実施したり、育成講座を開催しています。



化石レプリカづくり



ガイドの研修会

天草のグルメ&特産品

四方を海で囲まれた天草は、外洋と内海の潮流が複雑に混じり合うため、種類、水揚げともに豊富な海の幸や、独特の地形を利用した柑橘類などの山の幸に恵まれています。そこで暮らす人々の手によって受け継がれてきた食文化は、どこにもない宝物のようなものです。



天草ちゃんぽん

長崎ちゃんぽんから生まれ、独自の食文化を築いてきた天草ちゃんぽんは、知る人ぞ知る日本三大ちゃんぽんのひとつです。こだわりのスープに天草ならではの食材を使ったとびきりの味をお楽しみください。



天草大王

明治初期から大正時代に博多の水炊き用の地鶏として珍重されていた「天草大王」。昭和初期に絶滅したものを、10年の歳月をかけて平成13年に復元！日本最大級のサイズで、歯ごたえのあるしっかりした身を持ち、良いダシが出ると評判です。



南蛮柿 (イチジク)

16世紀後半、イエズス会の神父により天草にもたらされたというイチジクは、南蛮柿とも呼ばれています。現在も夏のフルーツとして親しまれており、天草の菓子店では、工夫を凝らしたイチジクのスイーツを楽しむことができます。

パンフレット

天草をより深く知るためのパンフレットは、各観光協会や道の駅、主要な交通機関で入手することができます。また、一部のパンフレットは、天草ジオパーク推進協議会のウェブサイトでも公開しています。



天草ジオパークマップ



天草海活



御所浦ジオツーリズムガイド